

令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：2019年12月6日

伊丹市立西中学校

(学級数 17学級、生徒数 505人)

1 本年度の取組状況（11月末現在）

(1) 確かな学力の定着

- ①土曜学習や放課後学習、「学習優先の日」等の課外学習の充実
- ②授業改善（授業研究、全国学力調査結果の活用）、1人1授業公開、授業スタイルの確立
- ③グループ活動や1分間スピーチなどによる表現力の育成
- ④週末課題の実施や家庭学習の計画を立てることによる家庭と連携した家庭学習の充実
- ⑤学習規律の徹底、学習環境の維持
- ⑥図書館祭り、読み聞かせ等の実施による読書活動の充実
- ⑦定例の教科部会やOJT研修等の実施による若手教員の授業力の向上
- ⑧シラバスを活用した学習意欲の向上
- ⑨学力向上委員会による学力向上策の検討
- ⑩コグトレの活用等、ユニバーサルデザインの視点を立った学力向上策の実施

(2) 豊かな心の育成

- ①生徒理解を図るため、Q-U調査（5月、11月 2回）の実施
- ②「いじめ防止」の取り組みの実施（生徒会、道徳、アンケート、にこちゃんマーク、教育相談週間等）
- ③1～3年生を縦割りにした異年齢グループ（きょうだい学級）による体育大会、文化祭における取り組み（合唱練習、貼り絵、大縄大会等）
- ④生徒を対象としたネットいじめ防止等の講演会の実施
- ⑤学校保健委員会におけるがん教育講演会、心の匠・町の先生事業による講演会の実施

(3) 健やかな体の育成

- ①部活動の活性化
- ②体育の授業における「タイムトライアル」の実施
- ③年1回学校保健委員会の開催
- ④全国体カテスト結果を活用した体力づくり

(4) 地域との連携

- ①生徒、教職員、保護者の地域活動への積極的な参加（夏祭り、奉仕活動等）
- ②ホームページによる積極的な情報発信
- ③学校運営協議会による家庭、地域と連携した学校運営

2 めざす学校像

- (1) 自ら学習に励む生徒を育てる学校
- (2) 授業や行事、部活動などで自尊感情を育む学校
- (3) 安心して生活できる学校
- (4) 家庭、地域社会と連携する学校

3 めざす子ども像

- (1) 進んで学習に励む生徒

- (2) 授業や行事、部活動に活力を持って取り組む生徒
- (3) 将来の夢や目標を抱き、その実現に向けて挑戦する生徒
- (4) 自尊感情と他者への思いやりの心を持つ生徒
- (5) 規範意識や基本的な生活習慣が身に付いた生徒

4 めざす教師像

- (1) 教育に対する信念と情熱を持った教師
- (2) 生徒個々の良さを認め、生徒の心にふれる指導ができる教師
- (3) 授業改善を含め、自らの資質向上のため努力を重ねる教師
- (4) 生徒と一緒に楽しみ、活力を持ってあらゆる活動に取り組む教師
- (5) 地域の一員として常識ある社会人である教師

5 我が校の特色

- (1) 校訓「友愛・自治・礼讓」
学校教育目標「あらゆることに活力にあふれた生徒の育成」
～自ら学び、自ら行動する生徒の育成～
- (2) 高い家庭と地域の教育力
- (3) 挨拶、合唱、行進等がしっかりできる生徒
- (4) 異年齢グループ（きょうだい学級）の学年、学級の枠を超えた交流

6 我が校の研究概要

- (1) 研究主題
「自ら学び、表現し、個々の可能性を最大限に発揮できる生徒の育成」
～主体的な学びの場を設定し、ユニバーサルデザイン化を意識した分かる授業を目指して～
- (2) 実践内容
 - ①表現力の育成を目指して授業の中で「グループ活動」を実施
 - ②「主体的な活動、表現したくなる場面」を設定した授業実践
 - ③言語力、表現力の育成を図るため終礼時に「1分間スピーチ」、学年ごとに「スピーチ大会」を実施
 - ④落ち着いた学びの場づくりを目指し、Q-U調査の結果を活かした学級経営の実施
 - ⑤若手教員の授業力の向上を目指したOJT研修の実施

7 学力向上に向けた取り組み

- ①土曜学習、放課後学習の実施
- ②毎週火曜日、部活動より学習を優先する「学習優先の日」の実施
- ③年2回授業研究会を実施
- ④年間一人1授業公開の実施
- ⑤表現力の育成を目指し、終礼時に「1分間スピーチ」、学年ごとに「スピーチ大会」を実施
- ⑥表現力の育成を目指し、授業の中で「グループ活動」を実施
- ⑦週末課題の実施
- ⑧全国学力調査の早期分析、授業改善や宿題等への早期対応
- ⑨保護者、関係機関との連携による落ちついた学習環境の維持（携帯電話やスマートフォン等の所持のルールづくり、問題行動への早期対応）
- ⑩朝読書の充実、ボランティアによる読み聞かせ、読書量増加を目指した「図書館祭り」の実施
- ⑪市教育委員会の指導主事を招聘し、教科部会において若手教員への授業に関する指導助言
- ⑫1時間ごとの授業の振り返りや連絡帳を活用した計画的な家庭学習の実施

8 教職員の勤務時間適正化に向けた取組

- (1) 生徒とふれあう時間を確保し超過勤務の縮減を図るため、ノー部活デー、ノー会議デー、（完全）定時退勤デーを実施
- (2) 通知表や学習指導要録の電子化、職員会議のペーパーレス化、職員朝礼時の連絡を共有フォルダ閲覧で実施
- (3) 教職員向け学校ルールブック及び保護者向けガイドブックの活用
- (4) ICT機器の一元管理
- (5) 記録簿を活用した管理職面談の実施

9 今後に向けて

「未来を担う人」の育成の具現化に向け「生きる力」を育むため、確かな学力と豊かな心を持ち、健康でたくましい生徒を育成する取り組みを行う。

- (1) 確かな学力
 - 保護者や関係機関と連携した落ち着いた学習環境の維持
 - 授業を大切にする生徒と教師
 - 授業改善
 - 学習規律と基本的な生活習慣の定着
 - 進路保証、進路実現
 - 12年間を見通し、研究を中心とした小中高連携の充実
 - 授業を互いに見合う機会の設定
 - 月1回市教育委員会指導主事を招聘した教科部会の開催
 - 読書量増加に向けた取組
 - 1時間ごとの授業の振り返りや連絡帳を活用した計画的な家庭学習の実施
 - 新聞を活用した学力向上への取り組み
 - 教育のユニバーサルデザイン化による学力向上策の実施
- (2) 豊かな心
 - 自他共に大切にする心の醸成といじめの防止
 - 「子どもが大好き」優しさの中に厳しさのある指導
 - けじめが有り、明るく元気な生徒と教職員
 - 切磋琢磨する生徒と教職員
 - 個では無くチームや組織で対応する生徒指導体制の確立
 - 行事、部活動、授業における自己肯定感の醸成
 - あいさつ、合唱、行進が市内一の学校
 - 生徒会活動、「きょうだい学級」の活性化
- (3) 開かれた学校
 - ホームページ、学校だよりの充実による地域に愛され応援される学校
 - 学校運営協議会の充実による家庭や地域の高い教育力を活かした学校運営
- (4) 勤務時間の適正化、人材育成
 - 行事の精選
 - 管理職による面談、OJT研修などによる若手教員の育成

伊丹市立西中学校 校長 大西 規之

我が校のHPのアドレスは・・・ <http://www.nishi.itami.ed.jp/>